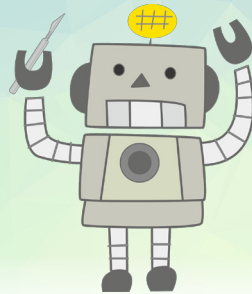




ロボット支援手術

Q. 当院で活躍している手術支援
ロボット“ダヴィンチ”とは？

人の形をしている
のでしょうか？



全自動的で手術ができる
のでしょうか？

A. 答えはどちらも
「いいえ」



手術支援ロボット“ダヴィンチ”は ...



操作台



患者さんを手術するロボットアーム



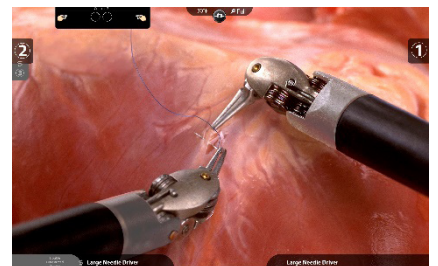
術野を映し出す 3D モニター

以上の3つで構成され、術者となる医師が体内の3D画像を見ながら、手元のハンドルを使い、遠隔操作で手術を助けていきます。近年、鏡視下手術（腹腔鏡下手術・胸腔鏡下手術など）は、患者さんの負担が少ない低侵襲の術式として広く普及しています。

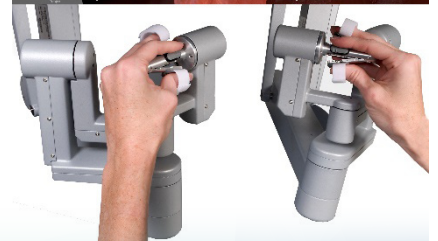


ダヴィンチには1本の高精細3D内視鏡が搭載されています。超拡大の3D映像で非常に鮮明な画像で手術が可能です。

また、医師の手の代わりになる3本のアームが搭載されています。（上の中央の写真①～③）



アームの先端には電気メスやハサミが搭載されています。アームは細やかな動きが可能なおうえ、手ぶれ補正機能があり切離などの操作が安全に行えます。



「ダヴィンチ」はこれら鏡視下手術の特徴を活かし、ロボット機能を付加したことで、従来不可能とされていた角度からの視野の確保と、鉗子の自在で細密な動きを可能にしました。

この優れた技術と操作性は、患者さんや医師にとっても大きなプラスの作用をもたらします。



患者さんのメリット

- 傷口が小さく、痛みが少ない
- 出血が少ない
- 感染症のリスクを減らすことができる
- 回復が早く、普通の生活に早く復帰できる

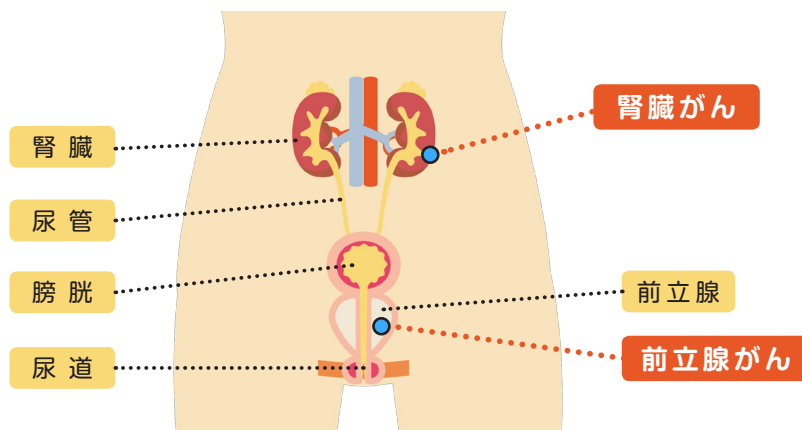


医師のメリット

- ロボットにしかできない動き（関節の360度回転など）で、以前は困難であった手術を可能にする
- 3次元の立体画像を見て行う為、より正確かつ安全に手術を行うことが可能
- 独自の手ぶれ補正機能により、スムーズで精緻な手術操作をすることができるので、医師の負担を軽減する

どのような病気に？

当院では前立腺がんと腎臓がんに対してロボット支援手術が保険診療で行えます。



どのくらいの費用がかかりますか？

ダヴィンチによる手術は健康保険が適応されます。そのため、医療費の負担は従来の腹腔鏡手術とあまり変わりありません。また、70歳以上の方では高額療養費制度を利用することも可能です。

	前立腺がんに対して	腎臓がんに対して
3割負担の場合	約45万円	約38万円
1割負担の場合	約15万円	約13万円
高額療養費制度利用の場合	約7万円	約7万円

- * 入院期間が月をまたがない場合の手術・入院費用を算出したものです（個室・食事代を除きます）。
- * ご加入の健康保険の種類や所得により異なる場合がありますので、詳しくはご相談ください。

